

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-212993(P2014-212993A)

【公開日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2013-93033(P2013-93033)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月29日(2015.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤と、

前記遊技盤に配置された始動入球手段と、

前記始動入球手段へ遊技球が入球したことを契機として、図柄変動ゲームの実行を保留する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に図柄変動ゲームの実行が保留されていない場合に、待機状態を生起させる待機状態生起手段と、

前記保留記憶手段に図柄変動ゲームの実行が保留されている場合に、当該図柄変動ゲームを実行させるゲーム制御手段と、

演出領域を有し、当該演出領域内で報知演出を実行する報知演出実行手段と、

前記始動入球手段へ遊技球が入球する確率が通常よりも高確率となる入球率向上状態を生起させる入球率向上状態生起手段と、

前記入球率向上状態の生起中、入球率向上状態が生起されていることを示す状態演出を演出表示手段に実行させる状態演出制御手段と、

前記待機状態及び入球率向上状態の生起中、前記演出表示手段にて前記状態演出を実行させた態様で行われる第1の待機演出と、前記演出表示手段にて前記状態演出を実行させない態様で行われる第2の待機演出の実行制御を行う待機演出制御手段と、を備え、

前記遊技盤には、発射された遊技球がアウト口に向かって流下する第1のルートと、前記第1のルートとは異なるルートであってアウト口に向かって流下する第2のルートと、が規定され、

前記遊技盤には、前記第1のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、前記第2のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、が配置されており、

前記入球率向上状態の生起中は、前記第2のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段へ遊技球が入球する確率が通常よりも高確率となり、

前記報知演出実行手段は、

前記入球率向上状態の生起中であって図柄変動ゲームの実行中は、前記第2のルートを流下させるように遊技球の発射を促す報知演出を実行し、

前記入球率向上状態の生起中であって前記第2の待機演出の実行中は、前記第2のルートを流下させるように遊技球の発射を促す報知演出を実行することを特徴とする遊技機。

**【請求項 2】**

前記第2のルートを流下せるように遊技球の発射を促す報知演出には、前記演出領域のうち第1演出領域で実行する第1領域報知演出と、前記演出領域のうち前記第1演出領域よりも広い第2演出領域で実行する第2領域報知演出と、が含まれ、

前記報知演出実行手段は、

前記入球率向上状態の生起中であって前記第2の待機演出の実行が開始されることを契機に前記第1領域報知演出の実行を開始し、当該第1領域報知演出の実行開始から切替時間が経過することに伴って、前記第1領域報知演出の実行を終了して前記第2領域報知演出の実行を開始することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

**【請求項 3】**

前記報知演出実行手段は、

前記第1領域報知演出の実行を終了して前記第2領域報知演出の実行を開始した後、前記始動入球手段への遊技球の入球を契機に、前記第2領域報知演出の実行を終了して前記第1領域報知演出の実行を開始可能であることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、遊技盤と、前記遊技盤に配置された始動入球手段と、前記始動入球手段へ遊技球が入球したことを契機として、図柄変動ゲームの実行を保留する保留記憶手段と、前記保留記憶手段に図柄変動ゲームの実行が保留されていない場合に、待機状態を生起させる待機状態生起手段と、前記保留記憶手段に図柄変動ゲームの実行が保留されている場合に、当該図柄変動ゲームを実行させるゲーム制御手段と、演出領域を有し、当該演出領域内で報知演出を実行する報知演出実行手段と、前記始動入球手段へ遊技球が入球する確率が通常よりも高確率となる入球率向上状態を生起させる入球率向上状態生起手段と、前記入球率向上状態の生起中、入球率向上状態が生起されていることを示す状態演出を演出表示手段に実行させる状態演出制御手段と、前記待機状態及び入球率向上状態の生起中、前記演出表示手段にて前記状態演出を実行させた態様で行われる第1の待機演出と、前記演出表示手段にて前記状態演出を実行させない態様で行われる第2の待機演出の実行制御を行う待機演出制御手段と、を備え、前記遊技盤には、発射された遊技球がアウト口に向かって流下する第1のルートと、前記第1のルートとは異なるルートであってアウト口に向かって流下する第2のルートと、が規定され、前記遊技盤には、前記第1のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、前記第2のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段と、が配置されており、前記入球率向上状態の生起中は、前記第2のルートで流下する遊技球が入球可能な始動入球手段へ遊技球が入球する確率が通常よりも高確率となり、前記報知演出実行手段は、前記入球率向上状態の生起中であって図柄変動ゲームの実行中は、前記第2のルートを流下せるように遊技球の発射を促す報知演出を実行し、前記入球率向上状態の生起中であって前記第2の待機演出の実行中は、前記第2のルートを流下せるように遊技球の発射を促す報知演出を実行することを特徴とする。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記遊技機について、前記第2のルートを流下せるように遊技球の発射を促す報知演出には、前記演出領域のうち第1演出領域で実行する第1領域報知演出と、前記演出領域

のうち前記第1演出領域よりも広い第2演出領域で実行する第2領域報知演出と、が含まれ、前記報知演出実行手段は、前記入球率向上状態の生起中であって前記第2の待機演出の実行が開始されることを契機に前記第1領域報知演出の実行を開始し、当該第1領域報知演出の実行開始から切替時間が経過することに伴って、前記第1領域報知演出の実行を終了して前記第2領域報知演出の実行を開始することが好ましい。